

授業科目	基礎セミナー	1 学年・前期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	必修

科目担当責任者	長谷川 真澄 (保健医療学研究棟 E305 号) e-mail : m-hasegawa@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	(杉浦 真由美)、(小林 和也)、(附属総合情報センター司書)		
概要	適切に情報を入手し理解すること、そして、文書を作成することや他者と円滑にコミュニケーションをとることは、講義や演習のほか、臨床実習においても非常に重要な能力である。本講義では、こうした能力を高めるための基本的な知識と技術を身に付ける。とくに、医療系の学生は「生涯学び続ける能力」が求められている。授業では、学び合い教え合うワークを中心として行い、主体的・能動的に学ぶスキルの修得を目指す。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学の講義・演習で学ぶために必要なノートテイキング、クリティカルリーディングの方法を学び、ワークで実践できる。</li> <li>2. 文章作成に必要な知識、技術を身に付け、レポート、手紙、電子メールを適切な文章で作成できる。</li> <li>3. コミュニケーションを円滑に行うために必要な「話す」「聞く」「考える」の各技能を習得し、演習で実践できる。</li> <li>4. 大学メールの操作方法、電子データの管理方法、無線 LAN の使い方を学習することによって適切な情報管理方法を理解し、これらを安全に利用できる。</li> <li>5. 発表資料を作成し、プレゼンテーションおよび質疑応答ができる。</li> </ol>		
関連科目	とくになし		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	授業・ワークの参加度	20%	授業・ワーク：グループ学習の参加状況、質問や発言の状況 課題：ビデオの視聴状況、事前学習・事後学習の達成状況 ワークシート・レポート：ワークシート・レポートの内容
	課題	40%	
	ワークシート・レポート	40%	
教科書	指定なし		
参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>①富永敦子(編)望月俊男、山下清美(監修) [2014] 「大学生のための文章表現ワークブック」 専修大学出版局</li> <li>②向後千春 [2016] 「18 歳からの「大人の学び」基礎講座」 北大路書房</li> </ol>		
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークを中心とした授業となるため、主体性・能動性が必要となります。</li> <li>・遅刻はワークに影響を及ぼすため厳禁です。</li> <li>・学習の主題・内容・方法、事前学習・事後学習は、学習の進捗状況、受講生の関心に応じて変更することがあります。</li> </ul>		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	授業の内容と学習の進め方、スケジュール管理、メールの書き方	授業で提示	講義 ワーク	(杉浦)
2	リサーチスキル：文献検索	授業で提示	〃	(附属総合 情報セン ター司書)
3	学ぶスキル：学習方略、リーダーシップ、情報リテラシー	授業で提示	〃	(杉浦)
4	書くスキル：アイデアの可視化	授業で提示	〃	(小林)
5	書くスキル：文章の基本形	授業で提示	〃	〃
6	学ぶスキル：批判的思考	授業で提示	〃	〃
7	書くスキル：テーマと問い	授業で提示	〃	〃

8	書くスキル：パラグラフライティング, 三角ロジック	授業で提示	〃	〃
9	書くスキル：レポートの構成と序論の書き方	授業で提示	〃	〃
10	書くスキル：本論と結論の書き方、文章の推敲	授業で提示	〃	〃
11	プレゼンテーションスキル：ポスター作成	授業で提示	〃	(杉浦)
12	プレゼンテーションスキル：ポスター発表・質疑応答	授業で提示	発表	(小林)
13	社会的スキル：コミュニケーション	授業で提示	講義 ワーク	〃
12	社会的スキル：職業と倫理	授業で提示	〃	〃
15	まとめ	授業で提示	〃	(杉浦)